



西合志南小学校 学校だより 文責 田中 宏和
西南小の風
 たれかのために しぶんのために いっしょうけんめい

やろうと思えば 令和6年3月5日 第44号

先日、朝から地域の見守りの方と同じ場所で登校指導することがありました。私も見守りの方も、同じように「おはようございます」と声をかけていきます。しかし、見守りの方への子どもたちからの挨拶の返しは、私よりも少なく、声も小さかったのです。もうはつきりとわかるほどでした。もちろん中には、同じように元気に挨拶できる子どもも少なくありませんが、実態を目の当たりにして、とても残念でした。見守りの方も感じておられたはず。

すぐにでも指導したい気持ちでしたが、登校の流れの中で何度か同じ指導を個別にすることになりますし、その場の感情で指導することは、子どもたちの挨拶への意欲には繋がりません。そもそも見守りの方がますますいたたまれない気持ちになるでしょう。その日は、指導の言葉を喉元でグツとこらえ、申し訳ない気持ちでいっぱいになりながら、登校指導を終えました。後日、地域の方々からの学校評価では次のような声をいただきました。

- ▼朝の挨拶で返事する子、しない子、三分の一は目も合わせないし「おはよう」の言葉もありません。一日の始まりは挨拶からだと思えますが、家庭のしつけですね。
- ▼班長さんはほとんど挨拶できる。他の児童はあまりできていません。
- ▼挨拶できる子どもは二割。私から元気よく声かけても返事なし。残念。
- ▼朝の登校時、こちらから「おはようございます」と言っても返事のない子どもが半数ぐらいいるが、中には子どもの方から少し離れていても元気な声で挨拶してくれる子どももいる。はたして毎朝の集合場所ですれを実行している子どもたちかどれほどいるのか疑問に思う。
- ▼私の方から挨拶をしても、残念ながら子どもたちからの挨拶が半数以上返ってきません。学校だけでなく、保護者の教育にも問題があるのかも分かりません。挨拶は人間形成の基礎の一つだと思っています。
- ▼素直で真面目な子どもたちという印象ですが、ただ一つ挨拶は、引込み思案なためか、自分から大きく元気な挨拶ができる子は少ない気がします。

厳しいご意見もありますが、子どもたちのことを思っているからこそです。子どもたちに人と豊かに繋がる人生を送ってもらうために、共に根気強い指導を行っていきましょう。まずは、私たち大人が明るい挨拶ができるように心がけていきたいなと思います。さて、厳しいご意見の一方で次のような声もいただいています。こんな姿を伸ばしていきたいですね。やろうと思えば、できるのです。

最後になりましたが、地域の皆さまには、日々子どもたちの健やかな育ちのために温かく見守っていただき、誠にありがとうございます。

- 人間関係を育む上で、挨拶はとても大事です。だからこそ子どもにも挨拶をできるように頑張ってほしいと願っています。今はできなくても決して叱ったりしないようにしましょう。
- 下校時に出会った児童はよく挨拶をしてくれます。
- 元気よく挨拶を行う児童はさすががしく健康そのものに見えます。
- 登校時のあいさつの声がよく出ている。
- 登校時、挨拶をよくやってくれる子どもたちにも元気をもらっています。「ほくたちのために見守りをしてもらってありがとうございませす」(二・五年生と毎日言ってくれるのには頭が下がります)。
- 子どもたちは地域住民に対してよく挨拶をしてくれます。とくに頭を下げてくれるのは受ける側としても頼もしい限りです。今後も児童たちの知育発達に尽力ください。
- 毎朝、元気よく通学している姿に楽しく元気をもらっています。元気よく挨拶も自分から進んでしてくれるのでうれしいです。



さわやかな笑顔に後光が差す二人



いつもテンションマックスの二人